

8/8 新幹線統括本部と申20号 「安全安定輸送の確保」で交渉

① 3月6日に発生した東北新幹線郡山駅分岐器速度超過による停止位置大幅行き過ぎについて

- <会社> 滑走したことで大幅行き過ぎとなった。原因究明は鉄道総研に依頼している。
- <組合> 新型E8系となるが、お客さまの負傷が二度と起きないように滑走対策の強化を求める。

② 3月29日に発生した東北新幹線大宮小山駅間の停電発生について

- <会社> 木の枝以外にもカラスの巣がないように対処していきたい。
- <組合> 「トリカルネット」は有効だが、目視しやすいように引き続き改善を求める。

③ 4月2日に発生した東北新幹線福島白石蔵王駅間工事車両油漏れについて

- <会社> 初期負荷をかけた保守用車を納入できないかをメーカーに要請する。本線走行試験も検討する。
- <組合> メーカーやグループ会社と情報を共有し対策することを求める。

④ 4月11日に発生した東北新幹線北上盛岡駅間の停電発生について

- <会社> 原因究明中であり、判明しだい対策を講じていく。
- <組合> 電力社員やグループ会社社員間の事故復旧での優先順位のルール化も必要である。

⑤ 大規模輸送障害時での指令・現地との連絡体制を明確にし、JR東日本とグループ会社で二次災害を発生させない指揮命令体制を確立すること。

- <組合> 異常時での指揮命令体制の訓練が必要である。
- <会社> 繰り返し事象を発生させないためにもしっかりとした指揮命令体制をしていく。